※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	原価計算	単位数	4	年次	２～３
使用教科書	「原価計算」新訂版（実教出版　商業３５０）						
副教材等	反復式　学習と検定　原価計算問題集　全商１級原価計算（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

商業科目「簿記１」では商品販売業の簿記（商業簿記）でした。
「簿記１」を理解し、かつ習得していることが大切です。原価計算は製造業の簿記（工業簿記）です。
継続発展する科目で、授業の展開が早いです。欠席すると流れに乗ることが難しくなります。
授業での学習ならびに家庭での学習（課題など）にしっかりと取り組んでください。
定期考査はあります。
簿記検定試験（日本商工会議所・全国商業高等学校協会主催）もありますので、挑戦しましょう。

２　学習の到達目標

原価計算に関する知識と技術を習得させ、その基本的なしくみについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・工場の取引を記録・計算・整理する技術である工業簿記に興味を持ち、工業簿記の学習に自ら進んで取り組んでいるか。	・原価計算に関する諸問題の解決をめざし、自らの考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、その成果を的確に表現しているか。	・原価計算の基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、適切に処理する能力を身に付けているか。	・工業簿記の基礎的・基本的な知識を身に付け原価計算の一巡の手続きとその手順を理解しているか。
評価方法	・定期考査 ・授業での発言 ・行動観察 ・ノート ・プリント ・ワークシート ・振り返りシート	・定期考査 ・授業内小テスト ・質疑応答 ・問題集等課題 ・パフォーマンス課題	・定期考査 ・授業内小テスト ・質疑応答 ・問題集等課題 ・パフォーマンス課題	・定期考査 ・授業内小テスト ・質疑応答 ・問題集等課題 ・パフォーマンス課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期	費目別計算	1.材料費の分類 2.材料費の消費と記帳 3.労務費の分類 4.労務費の消費と記帳 5.予定と実際の処理方法 6.経費の分類と記帳	○	○	○		a:さまざまな物の原価に興味関心をもてるか。 c:原価の３要素を費目別計算により消費額を計算できるか。 b:消費額の計算方法を理解できるか。	質疑応答 小テスト 問題集課題 定期考査
	個別原価計算	個別原価計算	○			○	a:原価計算表の記入の記入方法に興味を持つことができるか。 d:製造間接費の予定配賦について理解・処理ができるか。	授業内発言 質疑応答 小テスト 問題集課題 パフォーマンス課題 定期考査
		部門別個別原価計算		○	○	○	b:なぜ部門別にしているのかを理解しているか。 c:部門費配分表・部門費振替表の記入ができるか。 d:製造部門費予定配賦表の記入ができるか。	授業内発言 質疑応答 小テスト 問題集課題 パフォーマンス課題 定期考査
後期	総合原価計算	単純総合原価計算 平均法 先入先出法 減損 仕損 副産物 作業くず			○	○ ○	d:単純総合原価計算を２方法で計算できるか。 c：仕損じ・減損の処理が適切にできるか。 d:作業くず・副産物の仕訳および処理ができるか。	質疑応答 小テスト 問題集課題 パフォーマンス課題 定期考査
		等級別原価計算 組別原価計算 工程別原価計算			○	○	d:等級別原価計算・組別原価計算・工程別原価計算の仕訳ができるか。 c: 等級別原価計算・組別原価計算・工程別原価計算の原価計算表を作成することができるか。	質疑応答 問題集課題 定期考査
	標準原価計算	原価差異の計算と分析 パーシャルプラン			○ ○	○	c:直接材料費・直接労務費の再分析ができるか。 d:シュラッターシュラッターの図を使い製造間接費の差異分析ができるか。 c:パーシャルプラン・シングルプランの違いと記入ができるか。	質疑応答 問題集課題 パフォーマンス課題 定期考査
	直接原価計算	CVP 分析 直接原価計算と全部原価計算の P/L	○		○	○	a:近未来の利益予測に興味を持つことができる。 c:変動費・固定費の区別を明確にして変動製造マージン・貢献利益・営業利益を計算することができる。 直接原価計算と全部原価計算の損益計算書の違いを理解し作成することができる。	授業内発言 質疑応答 小テスト 問題集課題 パフォーマンス課題 定期考査
	問題演習	製造原価報告書とP/L	○				a:製造原価報告書について興味を持ち損益計算書との連動して作成できる。	授業内発言 質疑応答 小テスト 問題集課題 パフォーマンス課題 定期考査
		検定試験模擬テスト		○			b:自分の理解が不足している部分をしっかり考え補おうとしているか。	
		検定試験予想問題･過去問題			○		c:９０分で７０点以上の合格点を取れるか。	
		検定試験後の直し				○	d:間違いをしっかり直せるか。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。